



かつやま

6 No.679 月号



「豊作を願って」

平泉寺町小矢谷で、田んぼのオーナーによる田植えが行われました。これから秋の収穫に向けた草刈りや稲刈りなどは、昔ながらの手作業で行われるそうです。

CONTENTS 

環境特集
健康チャレンジ
次世代育成委員会の
これから

平成23年6月9日発行

歴史の散歩道

(128)

藤島城と平泉寺

平泉寺が三峰城で新田義貞の弟の脇屋義助を迎えて蜂起してから一年余り後、暦応元年（延元三年）二月中旬、新田義貞は鱒波で斯波高経を破り国府（越前市）をほぼ制圧すると、高経は足羽の城（藤島城・高木城・黒丸城など）に逃れた。新田義貞と脇屋義助も河合庄（福井市石盛町付近）に移動し、九頭竜川を挟んで高経が拠点とする足羽の城と対峙した。この時、平泉寺の衆徒の中から「藤嶋の庄は当寺多年山門と相論する地にて候ふ。もし当庄を平泉寺へ付けられ候はば、若輩は城々に籠て、軍忠を致され、宿老は捨持の扉を閉ちて、御祈禱を致すべきにて候ふ」と申し出があった。つまり、藤島庄を延暦寺から平泉寺に与えてくれるなら、若い衆徒は城で戦い、宿老は護摩堂に閉じこもり怨敵調伏の法を修するということであった。斯波高経から返答があり、平泉寺は北朝に味方することになった。



林城(出典「福井県の中・近世城館跡」)



藤島町の西超勝寺山門と藤島城址の石碑

けたところ、高経の家臣である細川出羽守・鹿草彦太郎の軍勢と出合っ流れ矢にあり、腹をかき切って自害した。なお、義貞戦死の地は福井の新田塚公園で、ここは「灯明寺観新田義貞戦没伝説地」として国史跡である。

藤島城の城跡は、福井市藤島町の西超勝寺の境内とされ、山門の側に藤島城址の石碑がある。この城は堀で囲まれ館跡とも言える。隣接する林村には「東館・西館」という地名と、館を囲む堀跡を描いた城跡が明治の地籍図に載っている。この城の面積は四ノアル（四反）ほどである。

(参考文献「日本古典文学全集55 太平記」
「福井県の中・近世城館跡」 太平記
文化財保護委員 佐野光臣)

人口の動き

	4月末現在	自然動態			社会動態			5月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,466人	7	17	-10	13	19	-6	12,450人	-16人
女	13,665人	8	19	-11	14	28	-14	13,640人	-25人
合計	26,131人	15	36	-21	27	47	-20	26,090人	-41人
世帯数	8,223世帯							8,220世帯	-3世帯

編集後記

5月25日から27日までの3日間、愛媛県新居浜市で開催された「第19回環境自治体会議」にはま会議に参加してきました。来年は、この大会が勝山市で開催されます。初日に全体会、2日目に分科会、最終日に分科会報告があるというスケジュールです。

この大会は、環境に関心のあるかたならどなたでも参加できます。来年は、ぜひ多くの市民の皆さんにご参加いただき、環境について一緒に学び、実践していきたいですね。詳しくは本文をご覧ください。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成23年5月末	前年比
総件数	214件	+12件
人身事故(うち高齢者)	26件(9)	-1件(+1)
死者(うち高齢者)	2人(2)	+1人(+1)
傷者	32人	+4人
物損事故	188件	+13件

6月の納税

市・県民税▶1期
納期限▶6月30日(木)
口座振替▶6月27日(月)

無料体験実施中！早期申込特典満載
学研で考え抜く力を、活用する力を！！
夏だけ算・国2教科8000円

旭町教室・87-3126
あろど教室・89-2079
しかたに教室・89-3176
もりかわ教室・090-8701-0358
みなみ教室・090-8323-6169

学研教室
幼児/算数・数学/国語/英語

※申込、詳細は上記教室までお電話ください！！

ご利用中のローンを見直したい方
一度(ろうきん)へ
ご相談ください！

おまとめ名人

北陸ろうきん 福山支店 TEL 0779-88-0490

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで



環境自治体会議「かつやま会議」 平成24年開催決定!

5月25日(水)から愛媛県新居浜市で開催された今年度の大会で、「環境自治体会議 かつやま会議」を来年5月に開催することが正式に決定しました。次期開催市のあいさつで山岸市長は、「世界で9番目にクリーンなまち勝山市へお越しいただき、環境について皆さんと学習できることを楽しみにしています。」と話し、来年度の「かつやま会議」をアピールしました。



来年度の「かつやま会議」をアピールする山岸市長とかつやま会議実行委員会のメンバー
(新居浜市市民文化センター)

第20回環境自治体会議 かつやま会議

とき：平成24年5月25日(金)～27日(日)

ところ：市民会館ほか

大会テーマ

「恐竜の時代から未来へつなぐ豊かな自然と環境
～世界で9番目に美しいまちからの発信～」

☎ 生活環境課 (☎88-8104)

来年5月25日から3日間 勝山市内で開催

環境自治体会議は、環境施策に積極的に取り組む全国の54の自治体で構成する組織で、毎年1回、それぞれの自治体の取り組みを紹介するともに、相互の情報交換をすることで環境施策の推進を図っています。

「かつやま会議」は、平成24年5月25日(金)から27日(日)の3日間の日程で行われます。

初日に基調講演と全体会、2日目には10程度の分科会と交流会、3日目には総括の全体会が開催されます。毎年、大会には開催地以外から約300人が参加しており、市民も含めて3日間延3000人が参加します。

「かつやま会議」は、勝山市で開催される初めての大規模なコンベンションの誘致になります。

分科会などは、テーマに興味があるかたどなたでも参加できますので、ぜひ市民の皆さんのご参加をお待ちしています。今からでも活動に興味があるかたは、生活環境課へご連絡ください。

「にいはま会議」に 実行委員・市議会議員も参加

来年に向け視察

5月25日(水)から3日間開催された「にいはま会議」には、勝山市から実行委員会の委員と市議会議員約40人が、来年度の「かつやま会議」に向けて参加と視察を行いました。

初日のパネルディスカッションでは、山岸市長がパネラーとして参加し、勝山市の環境施策などについて紹介しました。また、東日本大震災に向けた緊急提言にも参加し、陸前高田市への独自支援や、今後の支援案について報告しました。



パネルディスカッションに参加した山岸市長

勝山市の実行委員らは、分科会やフィールドワーク(現地視察)を通して、勝山の特色をどのように出したらいいか、どのようなおもてなしをしたらよいか、状況調査を行ったほか、地元のかたがたと情報交換をしました。

にいはま会議各分科会のテーマ

- 第1分科会 環境ビジネス
- 第2分科会 ごみ減量
- 第3分科会 再生可能エネルギー
- 第4分科会 温暖化対策と暮らし
- 第5分科会 環境マネジメントシステム
- 第6分科会 環境と交通
- 第7分科会 自然との共生
- 第8分科会 ふるさとブランド化
- 第9分科会 花と緑のまちづくり
- 第10分科会 これからの環境教育



分科会の様子
(写真上)



フィールドワークで
火力発電所見学
(写真右)

「かつやま会議」に向け 実行委員会発足

「かつやま会議」に向けた準備は、昨年からの市民の代表らで組織したエコ・クリーン市民会議で、環境施策について議論を進めてきました。その検討内容を基に、5月10日(火)に実行委員会を発足し、本格的な準備を開始しました。

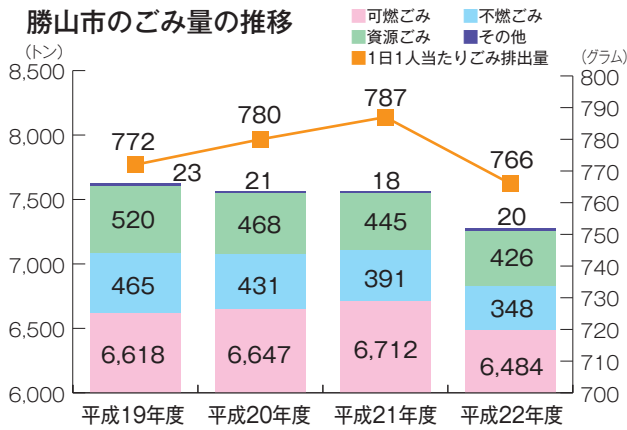
実行委員会は、勝山市長、市議会議長、区長会長のほか、エコ・クリーン市民会議の委員、観光や女性団体の代表者らで構成しています。



第1回実行委員会の様子

また、実行委員会とともに大会運営に関わる組織として5つの部会を設置し、一般公募の市民12人と市職員17人が加わっています。

第1回目の実行委員会で、委員長にエコ・クリーン市民会議委員長の石井紀夫さん(昭和町1)を選出し、大会テーマを「恐竜の時代から未来へつなぐ豊かな自然と環境 ～世界で9番目に美しいまちからの発信～」に決定しました。



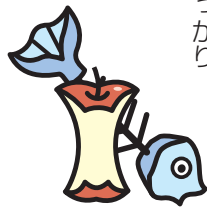
勝山市内の家庭や事業所から排出されるごみの量は、平成22年度においては年間約7300トンで、1日に私たち一人当たり約770グラムのごみを排出していることとなります。前年度の実績と比較すると減少しましたが、私たちが各地区のごみステーションに出すごみも、分別の徹底や生活習慣の改善によって、より一層のごみの減量化を実現することが可能です。市民一人ひとりが少しずつごみを減らすことは、地球にやさしい生活を送る第一歩となります。

勝山市のごみの現状

「ごみの減量化実現の」一歩を歩みだそう

「缶類」「ペットボトル」「ビン類」は資源ごみとして収集され、さまざまな製品として再生利用されています。しかし正しく分別されなければ、資源として再生利用できません。資源ごみの分別徹底に対し、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

「缶類」「ペットボトル」「ビン類」は分別してリサイクル



また、「生ごみ」には調理の際に出る野菜くず以外に、食事の食べ残しも多いため、ごはんを残さずに食べることもごみの減量化にとって大切です。野菜くずは、しっかりと水切りをして出ししましょう。

「紙類」に次いで、家庭から出る燃やせるごみに多く含まれるのが「生ごみ」です。勝山市では、生ごみの減量化に有効な手段となる「生ごみ処理機」と「生ごみ処理堆肥化容器（コンポスト）」の購入助成をしています。これらを用いれば、生ごみを減らすだけでなく、花や野菜を育てる肥料としても利用できます。

ごはんを残さずに食べよう

分別方法

ビン類

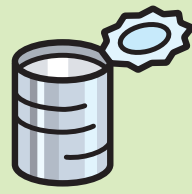
• お酒の一升ビン（通常の茶色のビン）やビールビン（通常のビン）は、酒の小売店やスーパーなどに引き取ってもらってください。引き取られたビンは、洗浄して何度も使用されます。

• 必ずビンの中を洗って、ふたは外してください。（プラスチック製のふたは燃やせるごみ、金属製は燃やせないごみになります。）



缶類

• 中を軽く水洗いし、缶の中には異物が残らないようにしてください。



ペットボトル

• 飲み残しがないように、中は軽く水洗いしてください。
• ラベルとふたは必ず外してください。（燃やせるごみになります。）



分ければ資源！
分別を徹底しよう！



「紙類」を、各地域や学校などで実施している集団回収に積極的に出して、ごみの減量化および再資源化を進めましょう。



子ども会の集団回収

「紙類」は燃やせるごみではありません
ありませぬ

勝山市では、「紙類」を資源ごみとして、「新聞紙」「段ボール」「その他の紙」「紙パック」に分別収集しリサイクルを行っています。まだまだ多くの紙類が燃やせるごみとして焼却処理されています。写真やカーボン紙、感熱紙、防水加工された紙などはリサイクルできない紙ですが、チラシや包装紙、名刺などのほとんどの紙は、「その他の紙」に分別を徹底することでリサイクルすることができます。

九頭竜川を美しく保つために

～クリーンアップ九頭竜川2011～



集めたごみの分別



中学生も参加

市内外から753人が参加
九頭竜川の美しさの再認識と愛着を持ってもらうことを目的とした「クリーンアップ九頭竜川2011」が、(社)勝山青年会議所主催のもと、5月22日（日）に九頭竜川沿いの8会場で開催されました。

今回で7回目となる取り組みに、市内外から過去最多の753人が参加し、3250kgのごみが回収されました。昨年に引き続き、同じ九頭竜川沿いの永平寺町、坂井市からボランティア団体も参加しました。

また、今回市内3中学校の生徒・保護者も約100人参加しました。子どもにごみの現状を知ってもらうことで、川にごみを捨てない、また捨てさせない意識啓発を広げていきます。

誰が捨てたごみ？

5月20日（金）に勝山中中部中学校の生徒全員による、毎年恒例の浄土寺川清掃と、学校周辺地域の清掃活動が行われました。

この活動は30年以上続いていて、浄土寺川ではこれからの季節にホタルを見ることが出来ます。

清掃活動に先立ち、勝山市環境保全推進コーナーディネーターの前園泰徳さんが生徒たちを前に講演を行いました。

その中で前園さんは、「ごみを拾うことは素晴らしいが、そのごみを分析することによって、誰がごみを川に捨てているのか突き止め、これ以上ごみが川に捨てられないように、元から絶たなければ意味が無い。それができれば、もう河川清掃を行わなくても済むようになる。」と話しました。浄土寺川清掃は、3年



集めたごみの分別



頑張る生徒たち

中部中学生が浄土寺川清掃
生が担当しました。見た目はきれいな川でも、実際はかなりのごみが集まりました。

生徒たちが来年は清掃活動をしながらもよいよう、「川にごみを捨てない」実践につなげましょう。

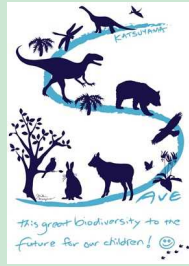
「川にごみを捨てない」実践を

■それは市民の資質
初回は、勝山最大の魅力について書かせていただきます。それはなんと
いっても、皆さん自身の資質です。環
境教育の目的は、持続可能な社会をつ
くることです。そのためには、「自然
に逆らわず、常に未来を見て、堅実に
計画的に生きる」ことが根幹となりま
す。

また、福井は日本トップレベルの学
力を育んでいる県です。未来を見据え
て計画的に生きることに加え、高いレ
ベルの学校教育体制があることが、持
続可能な社会づくりの基盤となりま
す。皆さんには当たり前のことが、実
は今後の日本の生活の本になるよう
な素晴らしいことなのです。
これからも、皆さん自身の資質をよ
り高め、勝山で暮らすことを誇りに
思ってください。私は、そのお手伝い
をさせていただきます。今後ともよろ
しく願います。

第1回 勝山最大の魅力とは？

私の仕事は、勝山の自然や環境の姿
を明らかにし、今後我々は何をすべき
かを考え、それを皆さんに伝えること
で持続可能な社会の基盤をつくってい
くことです。



「勝山エコライフ」
コラム

私は、この点において勝山の皆さん
は、すでに日本で最もゴールに近いと
ころにいると思っています。
というのも、皆さんは長い冬に逆ら
わず、これを受け入れ、先を考えて準
備を行い、毎日計画的かつ堅実に生き
ているからです。過去数百年にわたり、
すでに皆さんは持続可能な社会を維持し
てきたわけです。これは世界に誇るべ
きことです。

みんなで節電アクション!

東日本大震災を機に、全国で節電に関する取り組みが行われています。勝山市役所でも積極的に節電に取り組めます。市民の皆さんも生活スタイルを見直し、事業所や家庭での節電をお願いします。

市役所も節電に取り組めます

エアコンで節電!
設定温度を**28度**に

照明で節電!
昼休みの消灯
不要照明のカット

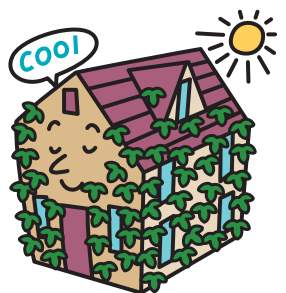
クールビズスタイルで快適に!!
夏の**エコスタイル**を推進

就業の見直し!
ノー残業デー
ライトダウン

省エネ行動で節電を!
OA機器設定変更で節電

- OA機器設定変更
 - 設定変更で消費電力30%減
(輝度40%、5分ディスプレイ切、15分スリープ)
 - 1時間45分使わない時はOFFに
(起動電力=消費電力1時間45分相当)

断熱性の向上!
各施設で
グリーンカーテンの
実施



勝山市エコ環境都市
推進活動表彰式
および記念講演会の開催

更なる環境意識の向上のために、勝山市エコ環境都市推進活動表彰式と記念講演を行います。

と き▶6月25日(土)
表彰式 10:00~10:30
記念講演 10:30~11:30

ところ▶すこやか 多目的ホール
演 題▶「勝山の魅力とは」
講 師▶環境保全推進コーディネーター
前園 泰徳 氏

※どなたでもお気軽にご参加ください
※すこやかロビーにて、6月15日(水)~30日(木)まで環境パネルおよび前園氏写真展を開催します
※詳しくは、生活環境課までお問い合わせください

ゴーヤのグリーンカーテンで
おいしく省エネ!

市では、夏場の節電対策として、ゴーヤで作るグリーンカーテンの普及を推進しています。

グリーンカーテンとは、ツル性植物であるゴーヤや朝顔などを窓の外側に育て、室内に入る日差しを遮るようすることをいいます。室内での体感温度を下げることで、冷房にかかる電気消費量や二酸化炭素の排出を抑え、低炭素社会づくりに繋がっていきます。

4月27日(水)、5月22日(日)、6月2日(木)にグリーンカーテンの育て方講習会を開催しました。延べ70人以上のかたが参加し、今年の夏に向けてグリーンカーテンの育成にチャレンジします。育て方の資料をご希望のかたは、生活環境課までご連絡ください。



家庭での節電をお願いします

こまめにスイッチオフ!
使い終わった電化製品の
スイッチをこまめに消す

エアコンで節電!
設定温度を**28度**に

待機電源を削減!
プラグを抜いて
消費電力量**6%カット**

冷蔵庫で節電!
開放時間、詰め込み
すぎに注意、熱いものは冷ましてから

テレビで節電!
消す時は**主電源をOFF**に、
画面は明るすぎないように
液晶テレビ、プラズマテレビは
画質を省エネモードに

10周年記念大会 勝ち山夏祭り 物産 勝ち山ワッショイ2011 参加チーム募集中!! 申込締切 6月30日(木)

ルール
メンバー全員が、手に鳴子や拍子木など音の出るものを持って踊ること
※音楽は自由(ただし、著作権上の手続きは、各チームで済ませておくこと)

参加料
1チーム5,000円
(人数制限なし)

参加予定者説明会
とき 6月17日(金)
午後7時～
ところ 教育会館
第1研修室



とき **8月14日(日)** 開会式 午後3時～
ところ **元禄線A・B会場、ゆめおーれ広場**

グランプリ	優勝ハッピー + 70,000円
準グランプリ	50,000円
第3位	30,000円
勝ち山ワッショイ10周年記念賞(2チーム)	20,000円
残り、全チームに参加賞	5,000円

勝山夏祭り実行委員会
(観光政策課内)
(☎88-8117)

勝山市地域防災指導者(防災士)養成講座

市では、地域防災力の向上を目指し、地域における防災リーダーを養成するために、地域防災指導者(防災士)養成講座を開催します。

とき▶
開講式 8月27日(土)
講座 11月12日(土)、13日(日)、20日(日)
※最終日に防災士資格試験を行います(全講座を受講したかたのみ受験可)

ところ▶教育会館 ホール
対象▶勝山市民または勝山市が認められたかた(定員170人)
費用▶勝山市民 3,000円
勝山市民以外 10,000円

※防災士とは、NPO法人日本防災士機構が認定した、減災や社会の防災力向上のための活動が期待され、そのための十分な意識・知識・技能を有するかたをいいます

総務課 (☎88-1116)



恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク
DINOSAUR VALLEY FUKUI
KATSUYAMA GEOPARK

とき▶7月16日(土)
午後1時30分～
ところ▶すこやか 多目的ホール
講師▶竹内 誠氏
(名古屋大学大学院 環境学研究所准教授)

※申込不要。お気軽にお越しください

勝山市出身の地球科学者が、ご自身の経験に基づいた地球を調べる魅力を語り、その中でプレート運動と関連づけたより大きなスケールで勝山の地質がもっている特長を解説します。

恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク ジオパーク市民講演会
「あなたをもっと知りたくて!」
一番長く過す場所、地球を調べよう!

【講師プロフィール】



勝山市郡町出身
理学博士(専門は地質学)
勝山高等学校では山岳部に在籍し、宮崎国体に出場
名古屋大学大学院を卒業後、通商産業省地質調査所に就職
名古屋大学大学院環境学研究所を経て現在に至る

未来創造課 (☎88-1115)



健康チャレンジ スタート!!

「健康チャレンジ」に参加して
運動習慣を身につけましょう!

健康長寿課 (☎87-0888)

※ロコモティブシンドロームとは
骨や筋肉、関節など運動器の働きが衰え、要介護となる危険の高い状態のこと。若年者でも膝や腰、関節などに痛みがある場合、それが原因で将来自力で日常生活に関わる動作を行うことができなくなる可能性がある。ウォーキングや運動は、これらの予防対策に繋がっている。

5月21日(土)に「健康チャレンジ」がスタートしました。
「健康チャレンジ」は、日常の活動量・運動量の増加と運動習慣を身につけることを目的に、メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防に繋がろうというものです。
健康チャレンジはポイント制となっていて、市が1年間を通して定期的に開催するウォーキング大会や運動講座のなどに参加すると、健康ポイントが獲得できます。200ポイント分の健康ポイントを集めて、健康を目指しましょう。



健康チャレンジ
スタンプカード

◆6月のウォーキング大会
とき▶6月19日(日)(小雨決行)
受付 午前9時～9時30分
集合場所▶弁天河原
内容▶5km程度のウォーキング

参加者は意欲満々
5月21日に、体力測定・ウォーキング講座を実施しました。ウォーキング講座では、運動指導士の講師から、カロリー消費量が多く、体に負担がかかりにくい歩き方のポイントなどの講義がありました。
普段から歩き慣れているかたや健康チャレンジをきっかけに運動不足を解消したいかたなど、参加者はさまざまでしたが、皆さん健康意識が高く、意欲的に取り組んでいました。
健康チャレンジは、いつでもお申し込みいただけます。ご自分の健康のためにも、ぜひご参加ください。
また、企業や団体での参加も受け付けています。

～歩く前に知っておきたい～ ウォーキングのポイント

- ◆歩き始めは、踵を浮かせて前傾姿勢をとりましょう
- ◆脇を閉めて、肘は後ろに引き、骨盤が左右にひねるように意識しましょう
- ◆水分補給では、カロリーの摂りすぎに注意し、スポーツ飲料は控えて、水やお茶を飲むようにしましょう
- ◆日中の野外ウォーキングでは、熱中症に注意しましょう

参加者の声

加藤 みつるさん
滝波町2丁目

健康チャレンジをきっかけに体力増進に繋がりたいです。講座で教わったポイントを実践しながら、職場や近所にはなるべく歩いていこうと思います。

先生から一言

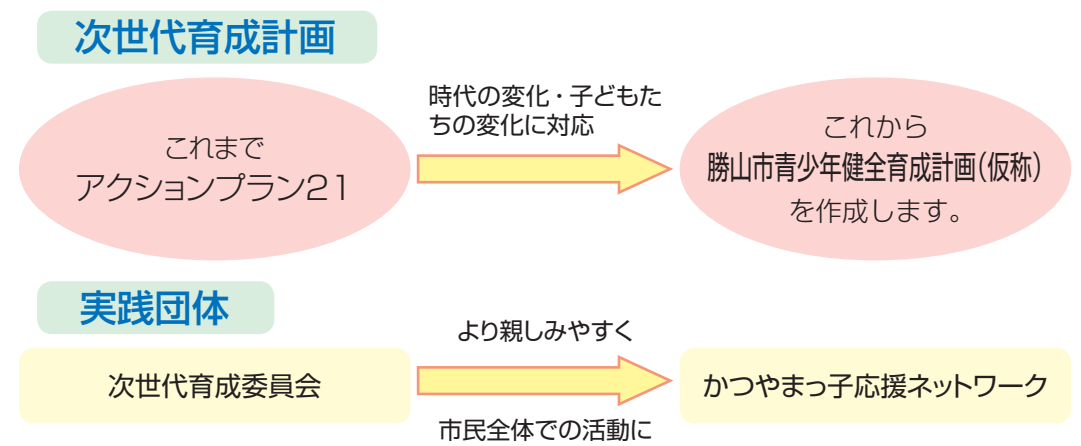
(有) パワーリンク
運動指導士
漆崎 由美先生

メタボやロコモの予防のためにも、歩くことはとても大切です。元気に過ごすためにも、健康チャレンジに参加しましょう。

～次世代育成委員会のこれから～



市ではこれまで、次世代の健全な育成のための計画「アクションプラン21」に基づき、各地区の次世代育成委員会が中心となり、さまざまな活動が行われてきました。今後は、時代や子どもたちの変化に対応し、市民全体の活動にしていくために、教育委員会でアクションプラン21を発展的に見直した「勝山市青少年健全育成計画（仮称）」を作成し、次世代育成委員会は「かつやまっ子応援ネットワーク」と名称を変えて、計画を実践していきます。



改善・強化のための 各地区の取り組み内容（抜粋）

- 勝山** 清掃活動などの行事に子どもの参加を呼びかけ、地区のかたと一緒に活動してもらう
- 平泉寺** 町民挙げて朝の挨拶運動を実施し、あいさつの大切さを啓発する
- 村岡** 「わが子の父親」から「地域の父親」へと変わるためのプログラムを設けた研修を行う
- 荒土** 地域の奉仕作業などに親子で参加したり、学年行事を地域で実施し、世代間の交流を深める
- 猪野瀬** 子どもたちが一定期間集まる機会を設け、遊びの中で自主性と共生を育む
- 遅羽** 地域行事では子どもたち一人ひとりに役割を与え、地域全体で運営する
- 北郷** 地域行事への参加を促し、地域団体・学校・家庭が協力して子どもを育成する
- 野向** 野向の自然の素晴らしさを感じるような活動を行い、「野性味」を身につけてもらう
- 鹿谷** 「地域の子どもは、地域で育てる」というテーマで、地域行事への参加を促し、体験をさせたり自分から行動する気持ちを育む



全体会の様子



地区別委員会の様子

5月20日（金）に次世代育成委員会全体会が開催され、各地区において現在・これからの子どもたちにより必要なもの、改善・強化するための具体的な取り組み内容が話し合われました。

**現在・これからの子どもたちに
より必要なスローガン**

- ・毎日きちんとあいさつをしよう
- ・外で元気に遊んだり、自然と触れ合う体験をどんどんしよう
- ・規範意識や尊敬の気持ちを養おう
- ・個人としての強さや個性・主体性を身につけよう
- ・我慢する気持ちを身につけよう
- ・家族や友達、地域の人達とどんな話をしよう
- ・相手を思いやる気持ちを養おう
- ・大人が子どもの見本となるよう心がけよう

そのために

8月7日（日）執行 第15回勝山市議会議員選挙 立候補予定者説明会

8月31日任期満了に伴う、第15回勝山市議会議員選挙の立候補予定者説明会を、次のとおり開催します。
と き ▼ 6月28日（火）
午後1時30分～
ところ ▼ 教育会館 第1研修室
☎ 選挙管理委員会 ☎ 88・1116

東日本大震災で 被災されたかたへ

大震災で被災されたかたは、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きを行うことで、所得税が還付となる場合があります。
また、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車重量税の還付などの特例があります。

水道等メーターの交換

水道等メーターは、計量法によって8年（検定期間）ごとの交換が義務付けられています。今年度の交換対象は、平成16年度製のメーターとなります。
メーターの交換は、来年3月までの間に、市が委託した勝山市水道事業協同組合の担当者が行いますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。（市発行の身分証明書を着用しています）

交換に際してのお願い

- ①ご不在の場合でも、交換のため敷地内に入り作業させていただきます
- ②メーターボックスの中や周りに物を置かないでください
- ③メーターの交換は無料で行いますが、お客様の費用負担が必要となる場合があります。その場合は、事前にご連絡します

☎ 上下水道課 ☎ 88 - 8109

地方税についても、住民税や固定資産税などの特例がありますので、詳しくは左記までお問い合わせください。
☎ 大野税務署 ☎ 66・2180
☎ 税務課 ☎ 88・8101

6月1日（水）から 住宅用火災警報器の設置が 義務化されました

就寝中の逃げ遅れを防ぐために、寝室はもちろん、寝室が2階にある場合は階段にも設置が必要です。
消防署では、警報器を設置された家に「設置済みシール」を配布し、玄関に貼っていただいています。設置された場合は、消防署までご連絡ください。なお、7月から8月にかけて、未設置住宅の調査を行います。
※悪質な訪問販売にご注意ください
☎ 消防署 ☎ 88・0400

お急ぎください！ 地デジの準備

アナログ放送終了まであと1か月あまりです。すべてのアナログ放送が終了する7月24日（日）までに、地デジの準備をお願いします。
6月16日（木）からは、教育会館に臨時相談コーナーが設置されます。
地デジについては、デジサポ福井 ☎ 0776・31・0101 へお問い合わせください。

地デジ視聴のための支援

市民税非課税世帯など、経済的な理由で地上デジタル放送をまだ視聴できていない世帯に対し、簡易チューナーの無償給付などの支援を行っています。
詳しくは地デジチューナー支援実施センター ☎ 0570・023724 へお問い合わせください。

教科書展示会

期間 ▼ 6月17日（金）～
7月14日（木）
ところ ▼ 教育会館 2階ロビー
展示物 ▼ 小学校用教科書（現在使用中のもの）、中学校用教科書（現在使用中のもの）、来年度新たに発行されるもの
☎ 学校教育課 ☎ 88・8112

勝山市景観計画をより良いものに パブリックコメント募集

市民の皆さまの意見を政策などの立案に反映させ、開かれた市政を推進するため、勝山市景観計画（案）についてパブリックコメント（意見公募）を行います。なお、提出いただいた意見は、市の考え方を添えて市のホームページで公表します。
応募期間 ▼ 6月10日（金）正午～
7月12日（火）正午まで
閲覧場所 ▼ 都市政策課、図書館、各公民館、市民活動センター、市のホームページ

「のぞみサポーター」募集

勝山市男女共同ネットワークの取り組みをサポートしていただく「のぞみサポーター」を募集します。興味があるかたはぜひご応募ください。
「男女参画 はじめの一步は 思いやり」を合言葉に、皆さんとともに住み良い社会を目指しましょう。
任期 ▼ 平成24年5月未まで
会費 ▼ 年間500円
☎ 未来創造課 ☎ 88・1115

勝山の美味しいお米を 子どもたちに伝えたい!

市女性農業委員と県農村活性化推進委員の合計10人で活動を始めて、今年で6年目を迎えることができました。どの園も心よく私たちを受け入れてくださったおかげだと感謝の思いで一杯です。

炊きあげごはんは塩味だけのおにぎりは素朴ですが、一番おいしく味わってもらっていると思います。

家に帰った子どもたちが家族に話すことで、大人にもお米のおいしさが伝わることを願っています。

この活動に取り組むことで、私たちが逆に子どもたちからパワーをもらっています。これからも笑顔で頑張ります。

おにぎりの会 会長 丸山星子

農業政策課

(☎88-81-009)



おにぎり作りの様子



田植え見学の様子

6月は食育月間

「おにぎりの会」紹介

市内で食育の推進を目的に活動しているグループ「おにぎりの会」は、子どもたちに朝食の大切さやごはんのおいしさを伝え、「食」や「農業」に対する関心や感謝の心を持ってもらうことを目的に、月に2〜3回、幼稚園や保育園へ出向いて活動しています。

活動内容として、手作り紙芝居「ごはんパワーでへんしん!」の上演やオリジナルのお米づくりカレンダーを用いたの米ができるまでの説明、子どもたちのおにぎり作り、田んぼでの田植えや稲刈り見学を行い、食育を推進していきます。

一緒に観よう 一緒に遊ぼう~ 勝山子ども劇場

勝山子ども劇場では、親子での鑑賞活動を大切にしています。舞台を観ている時のワクワクドキドキする世界と一緒に体験し、日常に戻った時「あんなだったね」と話し合ったり、舞台のセリフや歌と一緒に口ずさんだり、そんな時間がとても大事だと思っているからです。

子どもたちと子どもたちに関わっている全てのかたに演劇に触れてほしいと活動しています。うららんKIDSのお祭り広場では、自分たちで創造した遊びを通じ、親も子も育つ場を大切にしています。



勝山子ども劇場 (市民活動センター内)
(☎87-1011)

こんにちは、勝山市民活動ネットワークです

子育て中のお父さんお母さん、 お手伝いしてほしいことはありませんか 勝山地域ファミリーサービスクラブ

- * 出産後、上の子どもの世話と家事を頼みたい
- * 介護の合間に自分の時間をもちたい
- * 保育園の送迎をお願いしたい など

勝山地域ファミリーサービスクラブでは、上記のような日常生活のちょっとした、それでいて大切な事柄についてお手伝いしますので、何か困っていることがあればお気軽にご相談ください。

※お手伝いしていただけるかたも募集しています
※有料サービスになりますので、詳しくはお問い合わせください



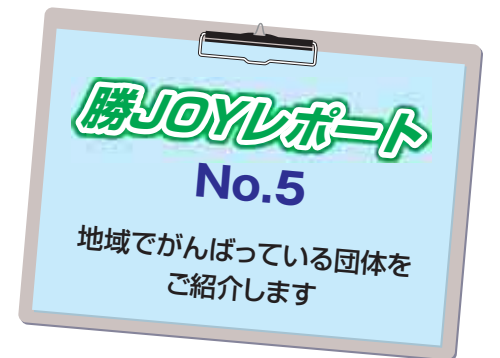
勝山地域ファミリーサービスクラブ
(火~金曜日 午後1時30分~4時30分)
(☎87-2734)

キラリと光る

婦人団体ご紹介

勝JOYレポートの第5弾をお届けします。

今回ご紹介するのは、地域の伝統料理を次世代に伝えていけるように、得意料理を分担しながら楽しんで活動している「ふるさと料理研究会」と、肩に力を入れずに顔を見て話ができる貴重な場として、婦人会活動をしている「片瀬地区婦人会」をご紹介します。



顔を見て話ができる貴重な場 片瀬地区婦人会



◎活動内容

区民運動会や研修旅行、敬老会、公民館祭、婦人消防隊、河川清掃など、年間を通して活発に活動しています。3年前からは「花のあるかたせ大作戦」と名づけた芝桜植えを始め、また最近では片瀬区で銭太鼓が盛り上がり、婦人会からも民謡で楽しんでいます。

◎会の特徴

若いかたは「ひまわりの会」に、婦人会を終わったかたは「老人会」にと、年齢別に会を分けることで、より活動しやすくなっています。

◎会長からのコメント

会員が脱会することなく続けてこられたのは、肩に力を入れることなく婦人会活動を行い、地域と関わることで「自分たちの居場所」を見つけられたからだと思えます。

婦人会活動は、仲間と顔を見て話ができる機会でもあります。この繋がりを大切にして、自分たちのためにこれからも仲間と協力しながら、継続して活動していきたいです。
会長 田中 貞子さん

うまいもん あがんねんせ~ ふるさと料理研究会



◎活動のきっかけ

平成21年度に勝山市連合婦人会が解散しましたが、このまま解散するのはもったいないと考え、連合会役員と料理好きな仲間と、5年間続いた「うまいもんあがんねんせ」を基盤とした「ふるさと料理研究会」を立ち上げました。

◎活動内容

- ①地域の伝統料理を次世代に伝えていくことや、家庭での食事のバランスを考えていただけけるよう、各種イベントに参加してアピールしています。
- ②地産地消の食事作りを心がけています。春は会員みんなで山登りをして山菜を採り、年間を通して調理できるように保存しています。
- ③会員11人が得意料理を持ち、季節ごとの料理を個々が分担して、お互い協力しながら会員相互の向上と親睦を図るよう努めています。

ふるさと料理研究会へのお問い合わせは下記まで

代表 村田 明子さん (☎89-2271)



概要説明をする山岸市長



福祉避難所での活動を説明する吉川介護福祉専門員（下段左）、自主防災組織の説明をする松村副市長（下段右）

市長と何でも語ろう会 陸前高田市への救援支援報告会

■5月31日 教育会館ホール

報告会には約150人が参加しました。最初に山岸市長が、同市への支援に至る経過や支援活動の概要説明をし、実際に福祉避難所で活動した介護施設職員や市職員の報告があり、最後に松村副市長が自主防災組織立ち上げについての説明をしました。

お城から地形を見学 ジオパークセミナー開催

■5月22日 勝山城博物館



勝山市ジオパークアドバイザーの吉川博輔氏による「勝山市の地形」についてのセミナーが、勝山城博物館展望台から実際の地形を見ながら行われました。

平成30年福井国体クレー射撃競技 勝山市で開催が決定

■6月3日 市内



前大会の様子

平成30年に開催される福井国体で、クレー射撃競技が勝山市で開催されることが決定しました。

「エコ協」部会の活動紹介

エコ協通信

先月からシリーズで、エコ協にある4つの部会（団体に問わず個人で参加できます）をご紹介します。

②きらり・シティ部会

部会員は、勝山市エコミュージアム協議会を構成する各団体と個人から参加の11人で、ゆめおれ勝山を拠点とした市街地が活気で溢れ、まちなかを探索していただけるまちづくりを目指して活動しています。

先進地を視察

昨年度は、三重県伊賀市や越前市などを視察しました。伊賀市では、店主が博物館長となり、観光客に昔の忍者道具などを説明されていました。越前市では、店舗玄関に商号プレートが多く見られ、その店舗の特徴は店内に入ると一目瞭然で、こちらでも店主からいろいろと説明を受けました。



越前市視察の様子

少しずつまちなかにも人が

昨年も恐竜博物館に多くのかたが訪れ、ゆめおれ勝山にも県内外の観光客が多く見られるようになりました。まちなかには、430年の歴史ある神社・仏閣・墓石、昔から続く旧家・老舗・庭園などがあります。九頭竜川に沿って形成された七里壁は、自然遺産の代表です。案内石柱や昔の通りを表わす高札も整備され、昔を思わせる街並みも保存されています。

各地区での取り組み

元禄一番街界隈では、「おばあちゃんに着物展」「明治・大正・昭和の花嫁衣裳展」「庭園の開放」が賑わいの取り組みとして行われました。立川区では、例年桜の時期に「さくらまつり」が行われています。

今後の活動に向けて

現在の取り組みである「地域まるごと博物館」を今後は、「ミニ博物館」とも言うような伊賀市や越前市のように、各所に個人商店や個人コレクショが見られる案内板などを設置していく工夫を考えています。市民の皆さまのご協力をいただき、美しいまち、住みよいまち、楽しいまちづくりをしていきましょう。

（きらり・シティ部会 前田耕一）
☆部会メンバー 随時募集中
※興味があるかたは、左記までお問い合わせください

◎ 未来創造課 (88-1115)

国保 平成23年4月から国民健康保険税の賦課限度額が改定

平成23年4月から、国民健康保険税の賦課限度額を次のとおり改定しました。ただし、平成23年度の税率は、平成22年度と変わらず、左記の表のとおりです。
7月中旬に、平成23年度分納付書を郵送します。忘れずに納付期限内に納めましょう。

賦課限度額の改定内容

変更前	変更後
医療保険分	50万円 ↓ 51万円
介護保険分	10万円 ↓ 12万円
支援金分	13万円 ↓ 14万円

	医療保険分	介護保険分(40歳～64歳)	後期高齢者支援金分
所得割額	課税標準額*1 × 4.6%	課税標準額*1 × 1.3%	課税標準額*1 × 1.4%
資産割額	課税標準額*2 × 23.0%	課税標準額*2 × 5.0%	課税標準額*2 × 5.8%
均等割額	被保険者1人当たり 20,000円	被保険者1人当たり 6,500円	被保険者1人当たり 7,000円
平等割額	1世帯当たり 19,000円	1世帯当たり 5,000円	1世帯当たり 6,000円
限度額	51万円	12万円	14万円

※1 平成22年中の総所得等－33万円
※2 平成23年度固定資産税額（都市計画税を除く）

年金 国民年金保険料の一般免除申請について

平成22年7月から平成23年6月までの国民年金保険料の一般免除申請の受け付けは、7月末で終了しますので、ご注意ください。

平成22年7月から
平成23年6月までの一般免除申請
受付締切▼8月1日(月)

平成23年7月から
平成24年6月までの一般免除申請
受付開始▼7月1日(金)

申請場所▼市民課、福井年金事務所
申請に必要なもの▼印鑑、離職票の写し（失業した場合は雇用保険受給資格者証）

納付が困難な場合はご相談を
保険料を未納のまま放っておくと、障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取れない場合があります。保険料の納付が困難なときは、左記までご相談ください。

◎ 福井年金事務所
市民課 (88-8102)

子ども図書

まるごとわかる！
地デジの本
マイカ/作
汐文社

鮮明な画質やはっきりとした音質が楽しめるほか、天気予報やニュースなどのデータ放送も見る事ができる「地デジ」のひみつが分かる。

るのたんじょうび

るのたんじょうび
中谷 千代子/絵
福音館書店

かおるとネコのるのはとてもいい友だちで、いつも一緒に遊びました。ところが、今日は朝からるるがいません。かおるはるるを探しに公園の方へ歩いて行きました。すると…。

おすすめ図書

中高生図書

わたしが情報について語るなら
松岡 正剛/著
ポプラ社

しらせ、知識、写真、映像、匂い…。いろんな「かたち」をとって、私たちの周辺を動く「情報」。編集の達人がさまざまな角度から、「情報」について語る。

僕は、そして僕たちはどう生きるか

僕は、そして僕たちはどう生きるか
梨木 香歩/著
理論社

土壌生物を調べに行った近所の公園で、叔父のノボちゃんにばったり会った。そこから思いもよらぬ1日がはじまって…。少年の日の感情と思考を、清々しい空気の中に描く。

一般図書

大人の食育百話
橋本 直樹/著
筑波書房

食料の生産と輸入、安全な食品の選び方、健康に暮らす食生活など、知っておきたい知識を選び、分かりやすく解説。日本の「食」の憂慮すべき現状がすべて分かる。

いねむり先生

いねむり先生
伊集院 静/著
集英社

女優だった妻の死後、アルコール依存、ギャンブルに溺れ、壊れてしまったボクは、「いねむり先生」こと色川武大に出会う。魂の交流と再生を描く自伝的長編小説。